



Topics ～循環器診療に役立つ、最新の話～

心不全合併心房細動患者もカテーテルアブレーション治療が有効

Catheter ablation improves cardiovascular outcomes in patients with atrial fibrillation and heart failure: a meta-analysis of randomized controlled trials. Florentina A. Simader et al. Europace. 2023 Feb; 25(2): 341–350.

本研究は、心不全合併心房細動患者へのカテーテルアブレーション治療による死亡および心不全入院の有効性を薬物治療と比較した無作為対象試験をメタ解析したものです。8つの試験(1390人：年齢62.6歳、EF28.2%)のうち、2年以上のフォローアップがなされた3試験が主解析基準に該当し、425人がカテーテルアブレーション、482人が薬物療法に割り付けられました。

Catheter ablation for Atrial Fibrillation in Heart Failure Meta-Analysis of Randomized Controlled Trials

8 eligible studies from 2,078 search results

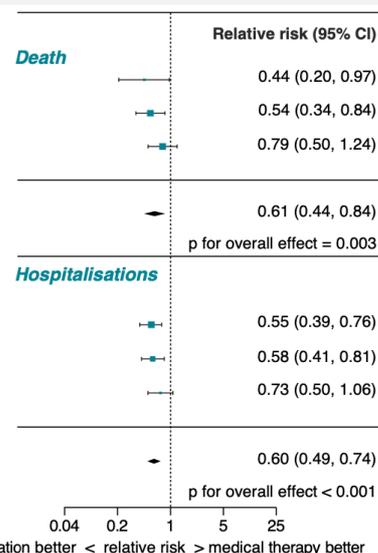
Mean age 62.6 years
Mean LVEF 28.2%

Primary Analysis: Trials with ≥ 2 years follow up

3 studies meeting primary analysis criterion (N = 977)

AATAC (N = 203)
CASTLE-AF (N = 363)
RAFT-AF (N = 411)

Catheter ablation resulted in a significant reduction in all-cause mortality and heart failure hospitalisations



結果、カテーテルアブレーション治療は薬物治療と比較し死亡率を有意に減少(RR 0.61, [95%CI 0.44-0.84;] P= 0.003)させ、また、心不全による入院を有意に減少(RR 0.60, [95%CI 0.49-0.74;] P<0.001)させました。

心不全に心房細動を合併した場合、予後はさらに悪化し、本邦での心不全合併心房細動へのアブレーション治療はガイドラインIIaであり、第一選択の治療ともなり得るため、当院では中高年の患者様には積極的に治療を推奨しております。高齢者の心不全患者様も心房細動合併例が多く、アブレーション治療が有効な方も多くいらっしゃいますが、治療のリスクも慎重に検討し、当院では一人一人へそれぞれの治療のメリットとデメリットを十分ご説明し、ニーズにお応え出来るようアブレーション治療を提案させていただいております。心房細動でお困りの患者様がおられましたら是非当院へご紹介ください。

文責 川原 隆道

スタッフ紹介 Vol.8



川原 隆道

医師

循環器内科 科長

2008年 弘前大卒

昨今、渋谷駅近くにもサウナが出来るなど空前のサウナブームとなっておりますが、自分も睡眠改善のためにサウナ通い(サ活)を始め早3年目になりました。風邪などちょっとした体調不良もサウナに入ると解消されてしまいます。皆様の健康管理のためにサウナが役立てればと願っております。

過去のハートチーム通信はこちら

